

## 生物部が熊本大学薬学部と連携研究

10月14日(土)

生物部カナヘビ班が、熊本大学薬学部構造生命イメージング分野のご協力のもと、カナヘビのMRI画像を撮りに熊大薬学部に行ってきました。

熊本大学は、文部科学省先端研究基盤共用促進事業「研究用MRI共有プラットフォーム」の10の大学・研究施設からなる実施機関の1つであり、ヒト用MRIより少し小さく、動物等の画像を撮影するのに適した高性能のMRIを整備されています。



画像の撮影前に、MRIの原理や、どのようなことができるかのお話を聞きました。

また、私たちが行っている研究について、構造生命イメージング分野の寺沢宏明教授、吉永壮佐講師にご説明しました。

その後議論をして、MRIを撮影するカナヘビをどれにするかを決めました。



左は、生物部が飼育している10匹のカナヘビのうちの1匹です。個体識別のためのマーキングをしています。

この個体は雄で、青と黄の印をつけているので、私たちは、「青黄君」と呼んでいます。10匹の中で1番強い個体です。

カナヘビが動かないように、ケースに入れ低温で眠らせました。





カナヘビをMRIに設置し、いよいよ撮影開始です。

結局、雄1匹、雌3匹の計4匹のカナヘビのMRI撮影を行うことができました。



撮影した画像は10月22日の熊本県高等学校生徒理科研究発表会をはじめ、いくつかの研究発表に向けての貴重なデータとして活用させていただきます。

熊本大学薬学部構造生命イメージング分野の先生方に深く感謝申し上げます。